

毎月一回

一日發行

# スミレ

定價拾錢

郵税不要

## すみれ 第壹卷 第六號 要目

(十月一日發行)

七十四

○姫百合……………	故落合	直文
○行かぬ羽田……………	宮西	星岡
○すみれ……………	稻村	眞里
○酒折宮……………	三矢	端良
○雲のゆくへ……………	植木	越州
○文藝雜誌(つゞき)……………	ほすゝさ	
○朱成功(下)……………	窪田	一露
○流水曲……………	文學士	中内
○斥候騎兵の圖……………	名取	蝶二
○啄木鳥……………	鶴丸	鳥川
○秋の自然……………	篠原	楓葉
○森かげ……………	原	保畝等
○夢心地……………	稻岡	美賀雄
○小柴籠……………	奥山	無言
○醜草……………	塚原	等
○わゝ理想の苦しみ……………	丹澤	美助
○黒雲……………	醫學士	村松
○筆のすさび(つゞき)……………	一倉	鬼瓦
○廣瀬中佐……………	さゝ	波
○死……………		一條柳雨
○十七字詩……………		空吟、夢山 迢々、南城
○玄海の恨……………		小木曾旭
○小川……………		小田切竹葉
○夕雲……………		埴よし子等
○山蓼……………		秋山 紅葉
○黒百合……………		有野 荳夢
○長短片々……………		すみれ會同人
○甲斐が嶺……………		小林 靜軒
○えびかづら……………		むら子、みつ子
○市川紀行……………		近藤ゆかり
○伊勢物語私見(つゞき)……………		小林 靜軒
○西山紀行……………		一瀬 蘆南
○噫志村秀太郎君……………		畑川 蓮峯
○興津の磯……………		八田 芙蓉
○哀調……………		小林 靜軒
○編輯事項……………		記
○すみれ會清規……………		者

## 發行所

甲府市魚町二丁目  
小林靜軒方

すみれ會

# 家庭割烹習學者に勸告す

女子教育上、學校に家庭に割烹習學の必用を知るも未だ其教授法の完全を計る事能はず、或は學校授業に二汁五菜の重きを科し、家庭教授に日用惣菜のみを授くるが如きは教員其人の撰擇を誤解し、料理人と料理職人との差別を立る事を得ざるにより、料理人は料理人にして料理職人とは料理茶店の職工なり然るを、學校教員に料理茶店の職工を以てせる所東京京都大阪にあり、しかも際立たる學校々舎に於てかくの如し、本會爰に見る所あり、家庭教授法、學校教授法の二學科により左の事業を擴張し割烹習學者の便益を計らんとし割烹教授法の完全を希望さる、諸君。實地應用の割烹を習學せんとする家庭に於ける主婦の君たちにつぐ

## ◎地方短期講習

〔家庭授業部〕

## ◎同

〔教員養成部〕

## ◎地方出張教授

〔學校及家庭〕

## ◎市内出張教授

〔家庭及學校〕

◎右何れも割烹學會擴張の爲め、有志者の便を計るを以て、殊更に費用簡易を主として教授事業を引請くるなり

東京市京橋區鈴木町

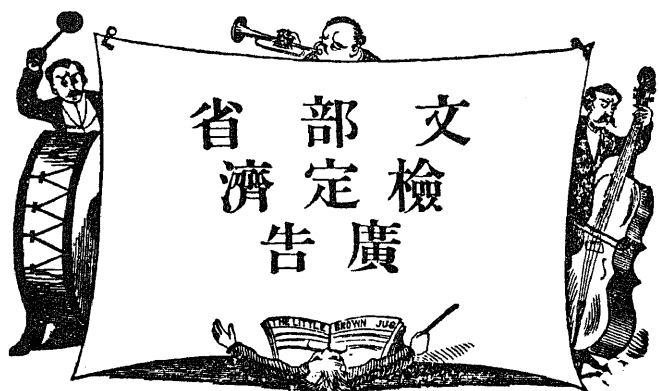
大日本割烹學會

石井式割烹教場

明治三十七年十一月

主任 石井泰次郎

明治三十四年二月廿八日丙午  
第三種郵便物認可



空前の唱歌良教科書！  
檢定済生徒用唱歌教科書の嚆矢  
文部省檢定済  
**唱歌教科書**

郵税一冊に就き金四錢

教師用	第一卷定價金三十錢
第二卷定價金三十錢	第三卷定價金三十錢
第四卷定價金三十錢	全四冊定價金一百二十錢
生徒用	第一卷定價金十五錢
第二卷定價金十五錢	第三卷定價金十五錢
第四卷定價金十五錢	全四冊定價金六十錢

發行以來唯一の完全な唱歌教科書として、非但唱法、音階、リズム、和音、伴奏、など、あらゆる唱歌の要素を、簡明扼要に、しかも、科学的に、系統的に、網羅し、且、その内容も、極めて豊富で、且、その表現も、極めて優美で、且、その練習も、極めて効果的である。故に、これこそ、唱歌の教科書として、最も適当なものである。故に、これこそ、唱歌の教科書として、最も適当なものである。故に、これこそ、唱歌の教科書として、最も適当なものである。

●洋琴 金參百圓以上 各種  
●ウワイオリン 金五圓以上五拾圓迄 各種

●鈴木製 金五圓以上五拾圓迄 各種  
●舶來品 八圓以上百五拾圓迄 各種

●樂隊用樂器  
大太鼓金貳拾圓以上 小太鼓八圓半以上 シンバル 金四圓以上 其他バス、バットン、テナー、アルト、コルネット、トロンボン等 金貳拾圓以上 百六拾圓迄

●鼓隊用樂器  
大鼓金貳拾圓以上 橫笛金壹圓以上  
○學校用一組拾參圓

●手風琴 金貳圓五拾錢以上 參拾圓迄 各種

●保險山葉風琴 定價金拾六圓五拾錢 以上金貳百圓迄

○右の外兩用風琴、吹奏琴、ハーモニカ、フラジヨ  
レット其他の樂器並に和洋音樂附屬品各種

●ピアノ、調律修繕

●郵券貳錢 御送附目錄進呈